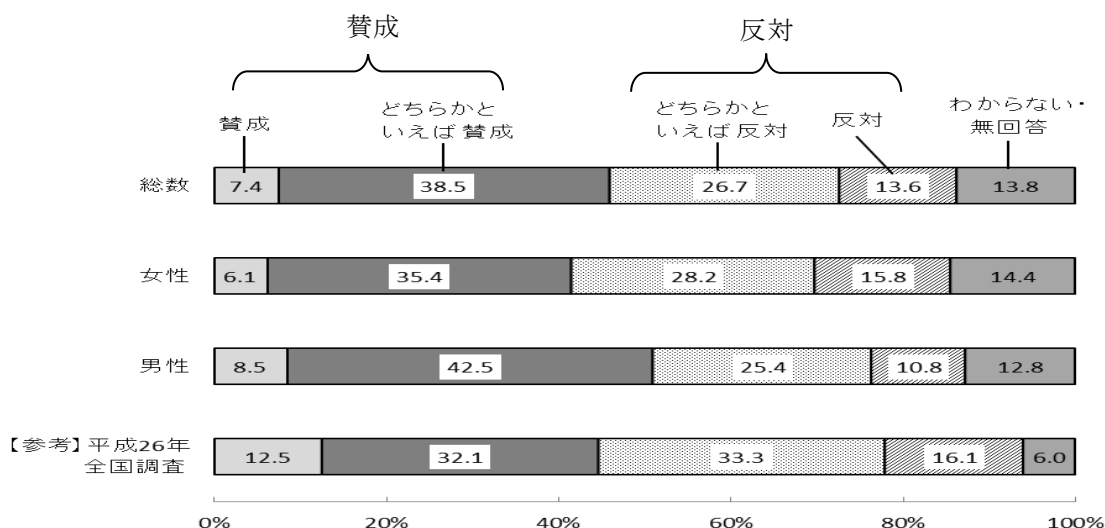


<トピックス> 愛知ではまだまだ「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」!?

愛知県の男女共同参画に関する意識について、本県が平成28年3月に策定した「あいち男女共同参画プラン2020～すべての人が輝き、多様性に富んだ活力ある社会をめざして～」(p.6)は、次のように述べています。

本県では、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方に、「賛成」(「賛成」、「どちらかといえば賛成」と回答した人の割合は45.9%)、「反対」(「反対」、「どちらかといえば反対」と回答した人の割合は40.3%)となっており、「賛成」が「反対」を上回っています。一方、全国では、「反対」と回答する人の割合(49.4%)が、「賛成」と回答する人の割合(44.6%)を上回っており、本県は全国に比べ、固定的性別役割分担意識がまだまだ根強く残っていることがわかります。

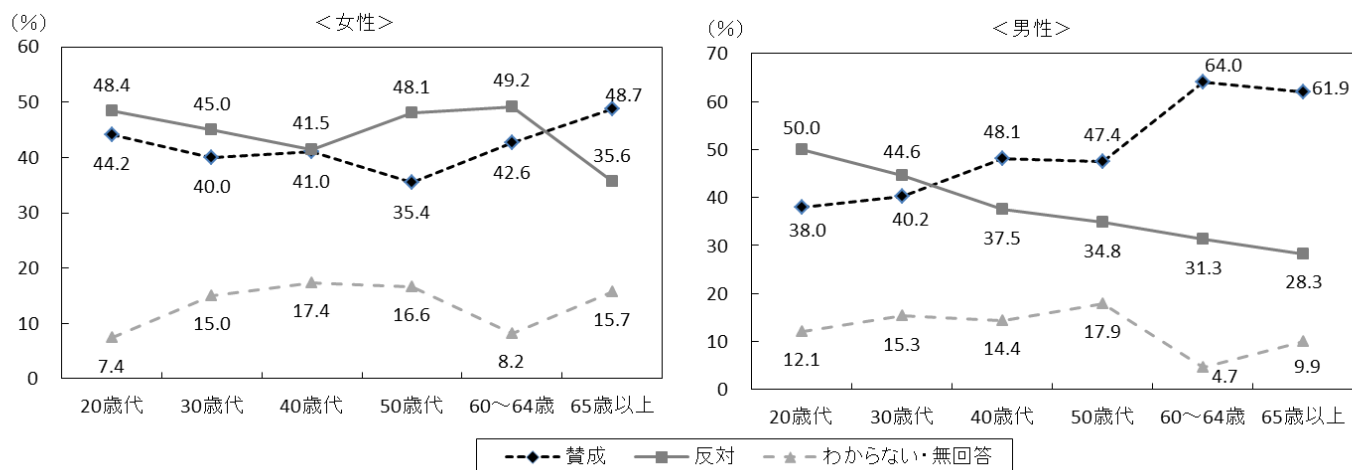
図A 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方【総数、性別】



資料：愛知県 県政策企画局「平成26年度第3回県政世論調査」

全 国 内閣府「女性の活躍推進に関する世論調査(平成26年8月調査)」

図B 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方【性・年齢別】



資料：愛知県 県政策企画局「平成26年度第3回県政世論調査」

「女性の労働力率」について、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という意識が全国より高い愛知県と、全国を比較してみます。

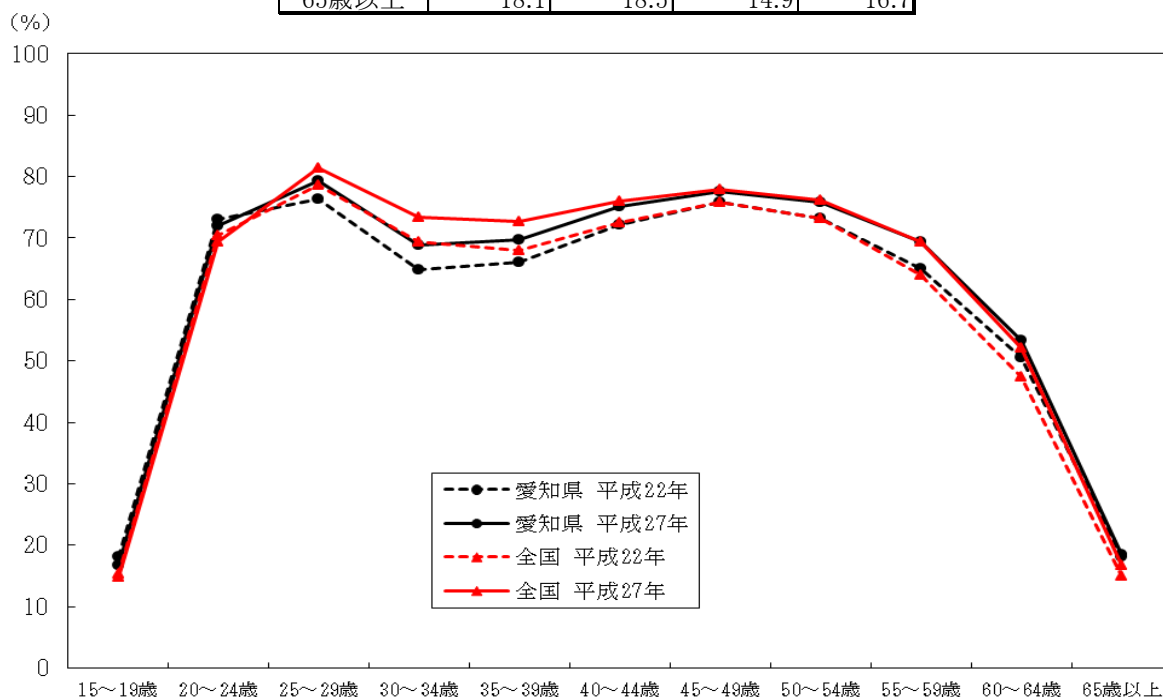
○女性の労働力率

年齢 5 歳階級別の労働力率の推移をみると、本資料の 10 ページのように男性の折れ線グラフは台形ですが、女性の場合は結婚・出産期に当たる年齢階級で労働力率が下落し、育児が落ち着く等の理由から再び上昇する「M字カーブ」を描いています。[図表C参照]

図表C 女性の労働力率(平成 22 年、27 年)

(単位:%)

年齢	愛知県		全国	
	平成22年	平成27年	平成22年	平成27年
15～19歳	18.0	16.7	15.4	14.7
20～24歳	73.1	72.1	70.4	69.5
25～29歳	76.3	79.3	78.7	81.4
30～34歳	64.9	68.9	69.4	73.5
35～39歳	66.0	69.7	68.0	72.7
40～44歳	72.2	75.1	72.5	76.0
45～49歳	75.8	77.5	75.8	77.9
50～54歳	73.2	75.8	73.2	76.2
55～59歳	65.1	69.4	63.9	69.4
60～64歳	50.5	53.4	47.5	52.1
65歳以上	18.1	18.5	14.9	16.7



資料:総務省「平成 22 年国勢調査」「平成 27 年国勢調査」

平成 27 年のM字カーブの「底」の年齢階級は、愛知県が 30～34 歳、全国が 35～39 歳となっています。これは、愛知県では結婚年齢が早いことと関係があると考えられます。[図表C、表D参照]

また、M字カーブの底をみてみると、平成 22 年から平成 27 年にかけて愛知県、全国ともに浅くなっています。当該期間中の女性の未婚率はほぼ変化していないので、M字カーブの底が上昇したのは、仕事と家庭の両立支援政策が充実してきたこと等により、結婚・出産を経ても仕事を続ける女性が増えたためであると考えられます。[図表C、表D参照]

表D 女性の配偶関係、年齢(5歳階級)別15歳以上人口の割合(平成22年、27年)

愛知県

	割合 (%)					
	平成22年			平成27年		
	未婚	有配偶	死別・離別	未婚	有配偶	死別・離別
女	23.0	59.9	17.1	23.0	58.9	18.1
15～19歳	99.2	0.7	0.1	99.4	0.6	0.0
20～24歳	88.9	10.3	0.7	91.0	8.4	0.6
25～29歳	56.0	41.9	2.1	57.4	40.6	2.0
30～34歳	29.8	66.4	3.8	29.9	66.3	3.8
35～39歳	19.0	74.8	6.2	20.4	74.2	5.4
40～44歳	14.0	77.5	8.5	16.2	75.8	8.0
45～49歳	9.8	79.7	10.4	13.2	76.3	10.5
50～54歳	6.8	81.9	11.4	9.6	77.9	12.6
55～59歳	4.8	82.2	13.1	6.5	79.9	13.6
60～64歳	4.1	79.4	16.5	4.6	79.0	16.3
65～69歳	3.3	74.3	22.4	3.9	75.1	21.0
70～74歳	3.3	64.2	32.5	3.2	67.3	29.5
75歳以上	3.8	33.1	63.1	3.5	35.7	60.8

全国

	割合 (%)					
	平成22年			平成27年		
	未婚	有配偶	死別・離別	未婚	有配偶	死別・離別
女	23.3	56.9	19.8	23.2	56.3	20.5
15～19歳	99.4	0.6	0.1	99.4	0.5	0.0
20～24歳	89.6	9.5	0.8	91.4	8.0	0.7
25～29歳	60.3	37.1	2.6	61.3	36.3	2.3
30～34歳	34.5	60.8	4.7	34.6	61.0	4.4
35～39歳	23.1	69.8	7.1	23.9	69.8	6.4
40～44歳	17.4	73.2	9.4	19.3	71.8	8.9
45～49歳	12.6	76.4	11.1	16.1	72.7	11.2
50～54歳	8.7	79.0	12.3	12.0	75.1	12.9
55～59歳	6.5	79.1	14.4	8.3	77.3	14.3
60～64歳	5.5	76.6	17.9	6.2	76.5	17.3
65～69歳	4.5	71.8	23.7	5.3	72.6	22.2
70～74歳	4.0	62.8	33.1	4.3	65.3	30.4
75歳以上	3.7	32.8	63.5	3.8	34.8	61.4

資料:総務省「平成22年国勢調査」「平成27年国勢調査」

また、平成27年のM字の左頂点(25～29歳)と、M字の底の差についてみてみますと、愛知県は10.4ポイント、全国は8.7ポイントとなっています。愛知県は全国を上回り、結婚・出産等による離職の割合が高い地域であることがわかります。[表E参照]

表E M字の深さ(離職と復帰)(平成27年)

(単位:%、ポイント)

	左頂点(a) 25～29歳	M字底(b) 愛知県30～34歳 全国 35～39歳	右頂点(c) 45～49歳	下落(a-b)	上昇(c-b)
愛知県	79.3	68.9	77.5	10.4	8.6
全国	81.4	72.7	77.9	8.7	5.2

資料:総務省「平成27年国勢調査」

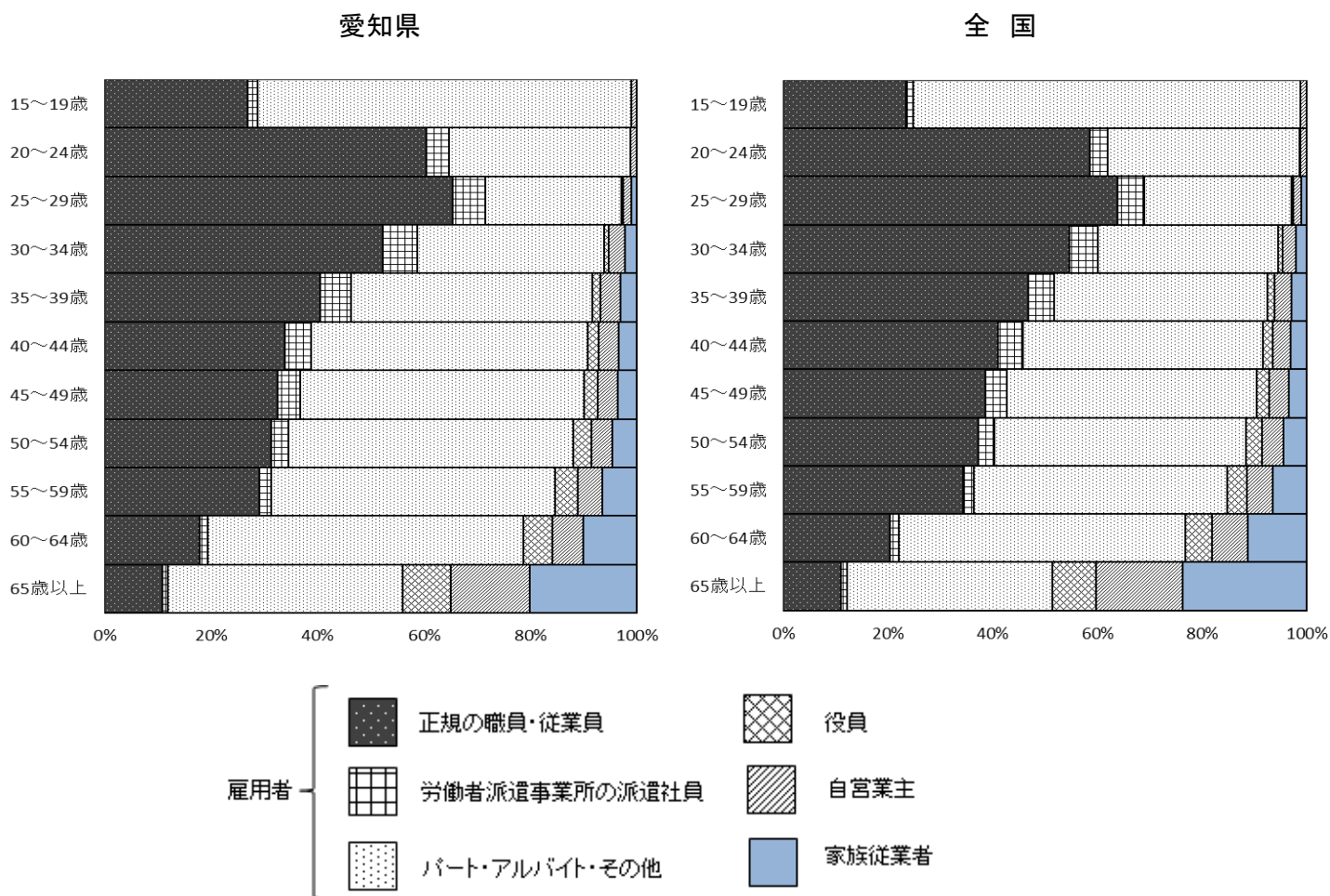
反対に、育児が一段落するなどして再び働く女性の割合をみるために、平成27年のM字の底と、M字の右頂点(45～49歳)の差を求めてみると、愛知県は8.6ポイント、全国は5.2ポイントとなっており、愛知県は再び働き出す女性の割合が全国より高いことがわかります。[表E参照]

ここで、年齢5歳階級別の女性の従業上の地位をみてみると、愛知県は45～49歳で「パート・アルバイト・その他」53.2%、「正規の職員・従業員」32.5%と、「パート・アルバイト・その他」が「正規の職員・従業員」を大きく上回っています。

一方、全国は45～49歳で「パート・アルバイト・その他」47.8%、「正規の職員・従業員」38.6%で「パート・アルバイト・その他」が「正規の職員・従業員」を上回っていますが、愛知県の方が「パート・アルバイト・その他」の割合が高く、「正規の職員・従業員」との差も大きいのです。

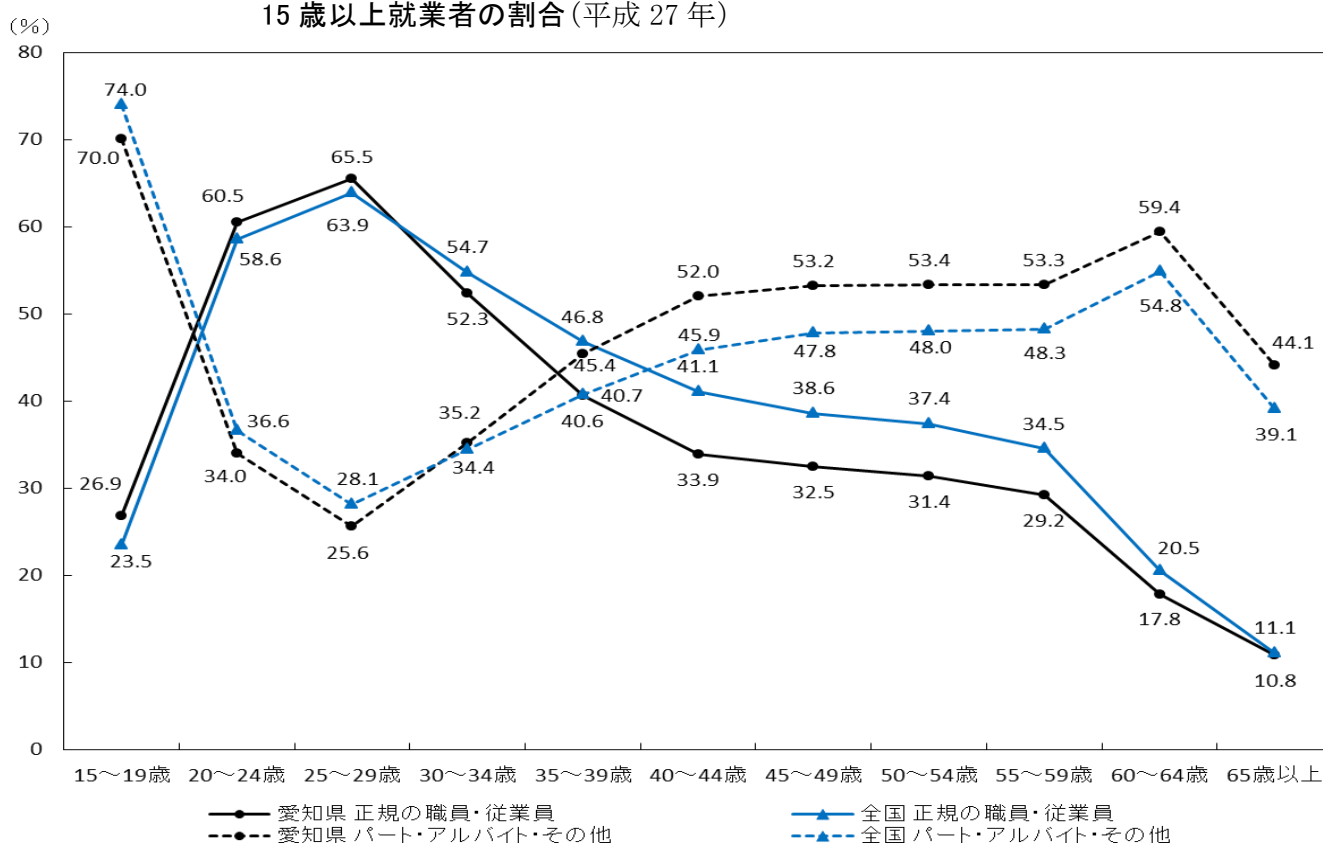
愛知県は40歳以上で、65歳以上を除き、「パート・アルバイト・その他」の割合が50%を超えています。[図F、G参照]

図F 女性の従業上の地位、年齢(5歳階級)別15歳以上就業者の割合(平成27年)



資料:総務省「平成27年国勢調査」

図G 女性の「正規の職員・従業員」「パート・アルバイト・その他」の年齢(5歳階級)別
15歳以上就業者の割合(平成27年)



資料:総務省「平成27年国勢調査」

結婚・出産等による離職には様々な理由が考えられますが、愛知県が結婚・出産等による離職の割合が高いのは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という意識が高いことも影響しているのかもしれない。

また、愛知県は、育児が一段落するなどして再び働き出す女性の割合が高いのですが、その従業上の地位は「パート・アルバイト・その他」の割合が高く、家計の補助的役割が大きいといえます。いまだ家事・育児等の主要な担い手は女性であり、ここでも「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という意識が働いているのかもしれない。